平成30年度　特別研究推進費実績報告書

2019 年　3　月　27　日

北九州市立大学長　様

（所属・職名）　法学部政策科学科・教授
（氏名）　田村　慶子

平成30年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、次のとおり報告します。

研究課題名	シンガポール現代史のなかの日本人 ―在シンガポール日本人への聞き取り調査から―
実施内容・研究成果の要旨（概要書を別途添付）	本研究は、両国間の外交や経済の交流史が主であったこれまでの先行研究とは異なり、長期にシンガポール人およびシンガポール社会と関わった在シンガポール日本人の眼から見る両国関係史、社会史である。聞き取りを行った日本人は、シンガポールに渡った時期によって大きく２つに分類した。 （１）1970年代～80年代に渡星（シンガポールに渡る）した方々 （２）1990年代～2000年代前半に渡星した方々 （１）は、まだ反日感情が根強い時期であったものの、華人商人と直接接触してビジネスを行った日本人以外では、シンガポール人との接触で苦労したという経験は聞けなかった。これは、ビジネス相手として日本を重視したこの時期のシンガポール政府の政策ゆえであろう。 （２）は、シンガポールが先進国入りを果たす時期であり、反日感情も薄れ、両国関係が徐々に対等な二国間関係に移行した時期でもある。この時期はシンガポールで歴史教育が復活したがゆえに、子育ての上で苦労したり戸惑ったという話をうかがった。また、長期に滞在する日本女性がシンガポール社会に根付き、統合されている情況を知ることができた。研究の成果は、『シンガポールで生きる日本人女性』（仮）というタイトルで共同研究者とともに出版予定である。

事項		使用内訳（単位：千円）				
		備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
交付決定額	680	0	87	105	5	483
支出金額	680	124	14	46	0	496
執行残額	0	-124	73	59	5	-13

共同研究者	所属・職名	氏名	役割分担等
	シンガポール国立大学･准教授	Thang　Leng Leng	共同研究
	南洋理工大学・講師	藤田　仁子	共同研究